

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38605
事業名	全国高等学校総合体育大会開催費					
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課				
	課長名	真壁 健太	担当者名	石山 博史	電話番号	011-211-3920
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	大会を通じて札幌の魅力を国内にPRすることや、円滑に開催できるよう、先催県の視察・調査などを行い、令和5年度の開催に向けて準備を進める。			
		長期	高校生のトップレベルのスポーツに触れる機会を提供することで、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツ振興につなげる。			
	取組内容	令和5年7・8月に北海道で開催される全国高等学校総合体育大会の会場地市町村として開催準備を行う。開催競技種目数が10競技11種目ときわめて多い一方、直近の開催は昭和62年であり、現在の大会の業務内容を詳細に把握する必要があることから、令和3年に開催される北信越大会の視察や、令和4年度以降の業務の一部委託に向けた調査検討を行う。また、大会開催に備えて会場地市町村としての実行委員会を設立する。				
実施結果	令和3年7～8月に開催された北信越大会において、陸上競技、体操競技、新体操、水球、バスケットボール、バドミントン、柔道、レスリング、弓道及びボクシングの10種目を視察したほか、道高体連の各競技専門部や北海道教育委員会との協議を行い、大会の開催準備を進めた。また、大会の準備運営に当たる組織として、令和4年3月23日に札幌市実行委員会を設立した。					
事業実施における工夫点	効率的な大会開催を目指し、令和4年度以降の大会準備業務の一部委託を検討したが、法的な問題を解決する手法が見いだせず断念した。					
対象者	市民、大会参加者	開始	令和3 年度	終了	令和5 年度	
関連法令・条例・要綱等	全国高等学校総合体育大会開催基準要項(公益財団法人全国高等学校体育連盟)					
他都市の状況	全国9ブロックの持ち回りによる毎年開催。 令和3年度は北信越ブロック(福井県・新潟県・長野県・石川県・富山県)で開催。 令和4年度は四国ブロック(徳島県・香川県・愛媛県・高知県)で開催。 令和6年度は北部九州ブロック(福岡県・佐賀県・長崎県・大分県)で開催予定。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	0	5,336	9,008	116,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費	0	0	0	0	
計(事業費+人件費)	0	5,336	9,008	116,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	旅費:754千円、備品購入費:6,725千円、需用費:86千円 役務費:144千円、使用料及び賃借料:453千円 時間外勤務手当:846千円			
	令和4年度予算	札幌市実行委員会 札幌市負担分(旅費、委託料等):103,068千円 競技運営システム購入(厚別公園競技場):11,372千円 時間外勤務手当:1,560千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	視察種目数(札幌開催10競技11種目中)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		11	10	11
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	直接スポーツ観戦率		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		43.6	22.4	50
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	北信越総体の視察を実施し、大会運営に必要な設備や人員等の調査を行うことができた。また、開催準備を進めるための組織として、札幌市実行委員会を設立した。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	北信越総体の各競技の視察は職員2名で実施しており、適切である。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	令和5年度全国高等学校総合体育大会開催基本構想において、準備・運営体制については、競技種目別大会の準備及び運営に当たるため、会場地市町実行委員会を設置することとしており、実行委員会による実施が求められている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	全国高体連が定めた全国高等学校総合体育大会(夏季大会)競技施設・設備等基準に基づき、準備を進めているところである。また、運営面においても道高体連競技専門部と協議を重ね、大会参加者が全力で競技に取り組める環境づくりを進めているところである。		
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	なし			
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	先催県の大会を視察し、準備のための実行委員会を設立したところであり、令和5年度の大会開催に向けて着実に準備を進めているため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 令和5年度の大会開催に向け、引き続き各競技種目別大会ごとの準備を進めていく。		
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 次年度は大会開催年であることから、競技種目別大会の開催に係る札幌市の負担が見込まれるため		見直し効果額 0千円